

S-1	減量なし	20%減量	30%減量	中止
-----	------	-------	-------	----

[適性使用基準]

1. PS (Performance Status)が0~2である		
*2. 重篤な感染症を合併していない		
*3. 重篤な骨髄抑制がない		
*4. 重篤な腎障害がない		
5. 劇症肝炎等の重症な肝障害がない		
6. 5-FUを投与されていない		
7. フルシトシンを投与されていない		
8. TS-1が7日以上休薬期間がある		
9. 生理機能が十分に保持され、下の基準を満たす。		
血液一般検査	* WBC (/μL)	3500 ≤ ≤ 12000
	* Neut (/μL)	2000 ≤
	* PLT (/μL)	10万 ≤
	* HGB (g/dL)	9.0 ≤
	GOT (IU/L)	≤ 80
	GPT (IU/L)	≤ 70
	TBil (mg/dL)	≤ 1.5
	* BUN (mg/dL)	≤ 25
	* Cr (mg/dL)	≤ 1.1
	* Ccr (mL/min)	80 ≤
	Mg	1.7~2.5

[DLF]

シスプラチン:
腎障害・悪心・嘔吐・骨髄抑制

S-1: 骨髄抑制

シスプラチン: 腎障害時用量調節

S-1: 腎障害時用量調節

[CBC・腎機能を考慮したTS-1の投与量の調節]

(慎重投与)

(投与不可)

PS	PS3	PS4
WBC (/μL)	2000 ≤ < 3000、12000 ≤	< 2000
Neut (/μL)	1000 ≤ < 2000	< 1000
PLT (/μL)	7.5万 ≤ < 10万	< 7.5万
HGB (g/dL)	8.0 ≤ < 9.0	< 8.0
GOT (IU/L)	< 150	150 ≤
GPT (IU/L)	< 150	150 ≤
TBil (mg/dL)	< 3.0	3.0 ≤
Cr (mg/dL)	< 1.5	1.5 ≤
Ccr(推定値) (mL/min)	50 ≤ < 80 必要に応じて1段階減量投与量から開始	< 30
	30 ≤ < 50 1段階以上の減量投与量から開始	

[DLFを除く重大な副作用]

S-1

- ・脱水症状【激しい下痢等】
- ・重篤な腸炎【激しい腹痛・下痢等】
- ・間質性肺炎【咳嗽・息切れ・呼吸困難・発熱等】
- ・重篤な口内炎、消化管潰瘍、消化管出血、消化管穿孔【腹痛・嘔吐・吐血・下血等】
- ・急性腎不全【むくみ・乏尿等】
- ・皮膚粘膜症候群、中毒性表皮壊死症【紅斑・発熱・関節痛・下痢等】
- ・白質脳症【歩行時のふらつき・四肢末端のしびれ感・舌のもつれ感等】
- ・臭覚脱失

シスプラチン

- ・ショック、アナフィラキシー様症状【発疹・チアノーゼ・呼吸困難・血圧低下等】
- ・聴力低下・難聴・耳鳴【聴力低下・難聴・耳鳴】
- ・うっ血乳頭、球後視神経炎、皮質盲【視力低下・中心暗点・眼痛】
- ・脳梗塞【意識障害・頭痛】
- ・溶血性尿毒症症候群【紫斑・むくみ・尿量低下】
- ・心筋梗塞、狭心症、うっ血性心不全、不整脈【胸痛・息切れ・動悸・心電図異常等】
- ・溶血性貧血【めまい・たちくらみ・倦怠感】
- ・間質性肺炎【咳・息切れ・呼吸困難・発熱等】
- ・抗利尿ホルモン不適合分泌症候群【むくみ・痙攣・意識障害】
- ・劇症肝炎、肝機能障害、黄疸【食欲不振・倦怠感・黄疸】
- ・消化管出血、消化性潰瘍、消化管穿孔【腹痛・嘔吐・吐血・下血】
- ・急性膵炎【腹痛・腰背痛】
- ・高血糖、糖尿病の悪化
- ・横紋筋融解症【筋肉痛・コーラ尿】